

平成 28 年度 施策評価シート

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	
基本施策	4	高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくり	
単位施策名称	1	高齢者福祉の充実	所管部
施策の方向性		●高齢者が様々な分野で生きがいを感じられるよう、高齢者の社会参加や元気づくりにつながる取り組みを支援します。 ●保健・医療・福祉が連携して高齢者を支えるため、高齢者福祉サービスの充実を図ります。 ●住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民、民間団体、行政機関などが一体となった支援の輪を広げます。	福祉保健部

1. 施策指標

番号	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28	H29	H30	H31	中期目標(H32)
1	シルバー人材センターを通じて就労した高齢者数	人	目標値		45,480	45,600	45,720	46,200	46,560
			実績値	44,760	37,750				
			達成状況		未達成				
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						
施策の推進に要した総事業費		千円	総事業費		109,394				
			うち、一般財源額		89,340				
		%	増減率(対前年度、総事業費)						
			増減率(対前年度、一般財源額)						

2. 施策の成果を押し上げる事業(事務事業)

番号	事業名称	事務事業評価指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28	H29	H30	H31	目標(H32)
01	シルバー人材センター助成事業	会員数	人	目標値		390	393	395	396	396
				実績値	387	390				
				達成状況		達成				
			千円	事業費		13,730				
				うち、一般財源額		13,730				
02	老人福祉センター改修等事業	エレベータ耐震対策	%	目標値		100	-	-	-	-
				実績値	-	100				
				達成状況		達成				
			千円	事業費		11,880				
				うち、一般財源額		0				
		トイレ改修工事	%	目標値		-	100	-	-	-
				実績値	-	-				
				達成状況		-				
			千円	事業費		-				
				うち、一般財源額		-				
03	介護職員処遇改善臨時特例事業	補助金交付事業所割合	%	目標値		100	100	-	-	-
				実績値	100	100				
				達成状況		達成				
			千円	事業費		19,253				
				うち、一般財源額		19,253				
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						
				目標値						
				実績値						
				達成状況						
			千円	事業費						
				うち、一般財源額						

3. 施策の成果を維持する事業(財政計画)

番号	事業名称	単位	区分	H28	H29	H30	H31	H32
1	介護保険サービス利用者負担軽減事業	千円	事業費	0				
			うち、一般財源額	0				
2	高齢者居宅生活支援事業	千円	事業費	8,114				
			うち、一般財源額	8,114				
3	老人福祉施設入所者等措置事業	千円	事業費	32,449				
			うち、一般財源額	26,559				
4	老人保健施設等整備助成事業	千円	事業費	2,329				
			うち、一般財源額	2,329				
5	敬老事業	千円	事業費	14,900				
			うち、一般財源額	13,494				
6	老人クラブ活動助成事業	千円	事業費	6,290				
			うち、一般財源額	5,412				
7	高齢者住宅整備資金貸付事業	千円	事業費	0				
			うち、一般財源額	0				
8	老人医療費給付事業	千円	事業費	0				
			うち、一般財源額	0				
9	老人保健事業	千円	事業費	0				
			うち、一般財源額	0				
10	高齢者福祉計画等策定事業	千円	事業費	449				
			うち、一般財源額	449				
11	老人集会所等維持管理事業	千円	事業費	5,542				
			うち、一般財源額	5,525				
12	老人福祉センター維持管理事業	千円	事業費	24,520				
			うち、一般財源額	21,233				
13		千円	事業費					
			うち、一般財源額					
14		千円	事業費					
			うち、一般財源額					
15		千円	事業費					
			うち、一般財源額					

4. 評価と対応方針

評価分析

前年度評価を踏まえた見直し状況

目標と実績の乖離要因

目標値は、府中町シルバー人材センターが平成27年3月に策定した第三次中期計画値、会員数390名、就業率100%、受注件数1,938件として算出しています。しかし、会員数は390名で達成したものの、就業率は78.2%にとどまり、受注件数も1,793件と目標値の92%にとどまったことが、延べ就労者数が目標値に達しなかった要因と考えられます。

施策の成果を押し上げる事業（事務事業）の分析

事業名称	指標達成状況	事業効果	事業改善	今後の方向性	方向性を踏まえた取り組み方針
シルバー人材センター助成事業	達成	高	低	事業継続	利用者からの要望に応えるため、平成29年度はトイレ改修工事(洋式化)を行い、施設利用の快適さの向上を図ります。
老人福祉センター改修等事業	達成	高	低	事業継続	
介護職員処遇改善臨時特例事業	達成	高	低	事業継続	

5. 今後の展望

成果を押し上げる事業(事務事業)の今後の展望		
事業名称	今後の方向性	方向性を踏まえた今後の展望
1 シルバー人材センター助成事業	事業継続	引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。
2 老人福祉センター改修等事業	事業継続	引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。
3 介護職員処遇改善臨時特例事業	事業継続	引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
課題等を踏まえた対応方針及び今後の事業の展望を踏まえた施策の方向性		
未達成ですが、目標値到達率は80%を超えていることから、概ね達成と見なし、引き続き目標値の達成を目指し、現在の方向性で施策を継続することとします。		

1. 基本情報

事務事業の名称	シルバー人材センター助成事業	事業番号	141101
所属	福祉保健部	高齢介護課	
政策体系			
基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	
基本施策	4	高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくり	
単位施策	1	高齢者福祉の充実	

2. 事務事業の概要・活動実績

事業概要及び活動実績	
1	府中町シルバー人材センターに対し、高齢者へ就労の場を提供する取組みに対する支援として、補助金を交付しました。
2	
3	
4	
5	
6	
7	

3. コスト情報

(単位:千円)

区分	平成28年度 (決算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (実施計画)	平成31年度 (実施計画)	平成32年度 (実施計画)
事業費合計	13,730	13,591	20,303	13,730	13,730
事業費 財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	4,900	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	13,730	13,591	15,403	13,730

4. 事業目標 (事業指標)

指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
1 会員数	人	目標値	390	393	395	396	396
		実績	390				
		達成状況	達成				
2		目標値					
		実績					
		達成状況					
3		目標値					
		実績					
		達成状況					
4		目標値					
		実績					
		達成状況					

5. 評価と対応方針

評価分析						
	前年度評価を踏まえた見直し状況					
	目標と実績の乖離要因					
新たに発生した課題・環境変化						
目標と実績の乖離や新たに発生した課題を踏まえた対応方針						
評価	事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業評価（今後の方向性）を踏まえた対応方針						
作成担当課長			高齢介護課長 森 太			

6. 今後の展望

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	
引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。	

1. 基本情報

事務事業の名称	老人福祉センター改修等事業	事業番号	141102
所属	福祉保健部	健康推進課	
政策体系			
基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	
基本施策	4	高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくり	
単位施策	1	高齢者福祉の充実	

2. 事務事業の概要・活動実績

事業概要及び活動実績	
1	福祉避難所である老人福祉センター福寿館のエレベーター耐震化対策工事を行い、災害時における要援護者対応機能、並びにコミュニティの場としての機能強化を図りました。
2	
3	
4	
5	
6	
7	

3. コスト情報

(単位:千円)

区分	平成28年度 (決算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (実施計画)	平成31年度 (実施計画)	平成32年度 (実施計画)
事業費合計	11,880	5,407	0	0	0
事業費					
財源内訳					
国庫支出金	0	0	0	0	0
県支出金	6,580	0	0	0	0
地方債	5,300	4,300	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	1,107	0	0	0

4. 事業目標 (事業指標)

指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
1 エレベーター耐震対策	%	目標値	100	-	-	-	-
		実績	100				
		達成状況	達成				
2 トイレ改修工事	%	目標値	-	100	-	-	-
		実績	-				
		達成状況	-				
3		目標値					
		実績					
		達成状況					
4		目標値					
		実績					
		達成状況					

5. 評価と対応方針

評価分析						
	前年度評価を踏まえた見直し状況					
	目標と実績の乖離要因					
新たに発生した課題・環境変化						
目標と実績の乖離や新たに発生した課題を踏まえた対応方針						
評価	事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業評価（今後の方向性）を踏まえた対応方針						
利用者からの要望に応えるため、平成29年度はトイレ改修工事(洋式化)を行い、施設利用の快適さの向上を図ります。						
作成担当課長			健康推進課長 長西 弘子			

6. 今後の展望

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	
引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。	

1. 基本情報

事務事業の名称	介護職員処遇改善臨時特例事業	事業番号	141103
所属	福祉保健部	高齡介護課	
政策体系			
基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	
基本施策	4	高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくり	
単位施策	1	高齢者福祉の充実	

2. 事務事業の概要・活動実績

事業概要及び活動実績	
1	介護サービス事業者における介護人材の確保が喫緊の課題となっていることから、国の行う「介護職員処遇改善加算」とは別に、府中町独自に介護サービス事業者に補助金を交付しました。 (交付申請が提出された17事業者に交付)
2	
3	
4	
5	
6	
7	

3. コスト情報

(単位:千円)

区分	平成28年度 (決算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (実施計画)	平成31年度 (実施計画)	平成32年度 (実施計画)
事業費合計	19,253	20,000	0	0	0
事業費					
財源内訳					
国庫支出金	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	19,253	20,000	0	0	0

4. 事業目標 (事業指標)

指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
1 補助金交付事業所割合	%	目標値	100	100	-	-	-
		実績	100				
		達成状況	達成				
2		目標値					
		実績					
		達成状況					
3		目標値					
		実績					
		達成状況					
4		目標値					
		実績					
		達成状況					

5. 評価と対応方針

評価分析						
	前年度評価を踏まえた見直し状況					
	目標と実績の乖離要因					
新たに発生した課題・環境変化						
平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業を実施することに伴い、当補助金の交付対象事業者が増加した。						
目標と実績の乖離や新たに発生した課題を踏まえた対応方針						
評価	事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業評価（今後の方向性）を踏まえた対応方針						
作成担当課長			高齢介護課長 森 太			

6. 今後の展望

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	
引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。	